

教科・学科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2	学年	1
使用教科書	ON! 1	発行者の番号・略称	89 友社	教科書の番号		音 I	901
指導者名		副教材等			なし		

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	みんなで歌おう 楽典	校歌 翼をください 少年時代	・呼吸や口の形など発声の基本を学習する。 ・歌うことの楽しさを感じる。 ・歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。	活動の様子 実技テスト	活動の様子 実技テスト	活動の様子
		音楽の設計図 五線譜を見てみよう リズム・メロディー	・音符、休符の読み方や、楽譜の基本的な仕組みを理解する。 ・楽譜を見て歌う力(視唱・読譜)を養う。	活動の様子 小テスト	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート
5	ミュージカル [中間考査]	「アラジン」	・作品を鑑賞し、物語の内容、登場人物の心情を理解する。 ・劇中で音楽がどのように使われているか、その効果を理解する。 ・曲想や歌詞の内容を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。	活動の様子	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート
6	ヨーロッパの歌 [期末考査]	オーソレミオ (イタリア語)	・イタリア語の発音の特徴を理解する。 ・楽曲にあるリズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解する。 ・歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。	活動の様子 実技テスト 小テスト	活動の様子 実技テスト 小テスト	活動の様子 ワークシート
		ハイデンレーズライン (ドイツ語)	・ドイツ語の発音の特徴を理解する。 ・ドイツ語の言葉(歌詞)のリズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解する。 ・歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。			
7	特別編成授業					
8						
9	日本の心 世界の心	郷土の伝統音楽 アジア地域の諸民族の音楽	・郷土の伝統音楽や、アジア地域の音楽の特徴について興味を持って鑑賞することができる。 ・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。 ・社会にとっての音楽の意味や、価値について考える。	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート
10	器楽 [中間考査]	リコーダー ソロ・アンサンブル	・リコーダーの基本的な奏法、演奏表現に必要な技術を学習する。 ・それぞれの楽曲の演奏を行い、上下パートを聴き合いながら、楽曲の曲想とリコーダーの音色を作り出す奏法の関係を理解する。 ・楽曲のイメージをもって、演奏表現を工夫する。	活動の様子 実技テスト 小テスト	活動の様子 実技テスト ワークシート	活動の様子 実技テスト ワークシート
11	楽典 [期末考査]	音名 和音、コードネーム	・音の高さと鍵盤の関係や臨時記号の意味を理解し、読譜の力を養う。 ・日本語、ドイツ語、英語の音名を学び、鍵盤の位置や音の高さと併せて理解することができる。 ・和音の構造を学習し、その響きを聴き取ることができる。 ・楽譜の中に書かれているコードネームを読み、演奏に生かすことができる。	活動の様子 ワークシート 小テスト	活動の様子 ワークシート 小テスト	活動の様子 ワークシート
12	特別編成授業					
1	歌唱 創作	ヴォイス・アンサンブル 合唱	・楽譜から正確なリズムを読み取り、声を発して表現する。 ・それぞれの役割(パートごとのリズム・言葉など)を果たし、互いに聴き合いながら、リズムの関係や声の響きの調和を作り出す。 ・楽曲の曲想について、互いに共通の意識を持って、音楽を作り出すようにする。	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート	活動の様子 ワークシート
2				発表の様子	発表の様子	発表の様子
3	[学年末考査]					

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	35 / 100
思考・判断・表現	・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、表現している。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解して鑑賞できる。	35 / 100
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、題材に関心を持ちながら、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	30 / 100

教科・学科	芸術	科目	美術 I	単位数	2	学年	1
使用教科書	美術1	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の番号	美 I 038-901		
指導者名	副教材等		なし				

1 学習の到達目標

- ・造形的な視点について理解を深め、意図に応じて創意工夫し、創造的に表現できる。
- ・造形的な視点から主題を生成し、創造的な発想・構想で、見方や感じ方を深めることができる。
- ・主体的に創造活動に取り組み、感性を高めながら美術文化に親しむ態度を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価方法
4	オリエンテーション・鑑賞	「美術とは何か」	・美術の学びの意味や広がりについて、作品鑑賞を通して考える。	活動の様子 ワークシート
5	表現: 絵画	「身近なものを見つめて」 (鉛筆による描画表現)	・身近なものを見つめ直し、そのよさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことをもとに、鉛筆の特性を生かしながら描く。 ▶モチーフの正しい形体をとらえる。 ▶光の当たり具合を確認し、陰影を表現する。 ▶主題、構想にしたがい、鉛筆の特性を生かして作品としてまとめる。 ▶完成作品を鑑賞する。	活動の様子 ワークシート スケッチブック 作品
6	表現: デザイン	「平面構成」 (色の感情表現)	・色の仕組みと効果について学び、求める目的に合った配色をデザインする。 ▶色の仕組みや効果を理解する。 ▶テーマに沿った平面を構成する。 ▶立体感・遠近感を意識したデザインを考え、マス目入り用紙(平面構成シート)に下描きする。 ▶配色計画に沿って着彩する。 ▶全体視に努め、修正も含めて作品を完成にもっていく。 ▶完成作品を鑑賞する。	活動の様子 ワークシート スケッチブック 下描き 作品
7				
8				
9	鑑賞: 日本絵画	「鑑賞・模写」	・作品に込められた思いについて、自分なりの解釈を打ち立てるとともに、作者の思いや他者の解釈に触れて、自身の見方や考え方を深め広げる。 ▶「見る」…描かれているもの(事実)を隅々まで確認して書き留める。 ▶「考える」…事実をもとに作品に込められた思いについて想像する。 ▶「実感する」…作品を忠実に再現し、作風を写し取ることでその作者の意図を体感・理解する。 ▶「実感する」…作品を忠実に再現し、作風を写し取ることでその作者の意図を体感・理解する。	活動の様子 ワークシート
10	表現: デザイン	「額縁デザイン」 (モザイクによる装飾美術表現)	・モザイク表現により、装飾的な美しさを表現することを学び、技巧を凝らし創意工夫をする意欲を高める。 ▶工業生産と美術を結びつけた「装飾美術」についての意義を学ぶ。 ▶モザイクの画材としての特性や効果を学ぶ。 ▶自己表現とは異なった目的でデザインし制作する「装飾芸術」について考えを深める。 ▶完成度の高い作品にするよう、丁寧に制作する姿勢を育てる。 ▶完成作品を鑑賞する。	活動の様子 ワークシート スケッチブック 下描き 作品
11				
12				
1	表現: 絵画・デザイン	「切り絵に挑戦！」 (紙と刃物による絵画・デザイン表現)	・刃物の切り口による独特の造形表現である切り絵の制作を通して、その味わいや美しさを感じ取る。 ▶参考作品の鑑賞や切り取り練習を通して、切り絵の特徴を理解する。 ▶下絵を黒紙に固定し、効率的な手順を考えて切り取る。 ▶台紙に貼り付け、周りの不要部分を切り落として仕上げる。 ▶鑑賞作品を鑑賞する。	活動の様子 ワークシート 作品
2				
3				

3 評価の観点(年間)

思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているか。	40/100
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているか。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表しているか。	30/100
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。	30/100

教科・学科	芸術	科目	書道 I	単位数	2	学年	1
使用教科書	書 I	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の番号	書 I 038-901		
指導者名	副教材等		なし				

1 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	書写と書道は何が違うの?	書道の三分野 臨書・鑑賞・創作の学習方法 芸術科書道と国語科書写の違い	書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。			ワークシート 学習態度 意欲
5	【漢字の書】 楷書 [中間考査]	漢字の変遷とさまざまな書体	それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の違いを理解する。			学習態度
6	九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑	楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質、用筆法・運筆法を学ぶ。	提出作品	ワークシート	学習態度	
6	唐の四大家について (鑑賞)	四つの古典の学習を振り返り、相互に比較しながら鑑賞を深める。		ワークシート		
7	特別編成授業 作品制作	刻字(文化祭作品)	刻字に必要な用具と制作手順について理解する。 陰刻か陽刻かを選び、刻字に取り組む。			学習態度
8						
9	作品制作	刻字(文化祭作品)	刻字に必要な用具と制作手順について理解する。 陰刻か陽刻かを選び、刻字に取り組む。		提出作品	学習態度
10	行書 [中間考査]	蘭亭序 風信帖	行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえ、用筆法・運筆法を学ぶ。	提出作品	ワークシート	学習態度
11	漢字作品制作	楷書・行書による創作	これまでに学んだ古典の特徴や表現技法を生かし、創意工夫し、作品を制作する。		提出作品	学習態度
11	【仮名の書】 平仮名・片仮名・変体仮名・連綿 蓬萊切 [期末考査]	仮名の成立と種類について学ぶ。 基本的な筆使いを練習し、仮名特有の用筆・運筆を習得する。	提出作品	ワークシート	学習態度	
12	特別編成授業 仮名作品制作	古筆を生かした創作	これまでに学んだ古筆を参考にしながら、平仮名、変体仮名の組み合わせ方や連綿のしかた、用具・用材、全体構成を考える。		提出作品	学習態度
1	篆刻	姓名印制作	篆刻における印の種類、必要な用具・用材を理解する。 制作手順を理解する。		提出作品	学習態度
2	【漢字仮名交じりの書】	漢字仮名交じりの書の制作 (心に響く言葉を書く)	書く言葉を決め、表現のイメージを明確にもつ。 古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風、紙面構成、用具・用材などの観点で作品の構想を練る。	提出作品	ワークシート	学習態度
3	鑑賞	作品を鑑賞し、感じたことを自分の言葉でまとめ、意見交換する。	刻字、漢字仮名交じりの書の作品鑑賞会			

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	30/100
思考・判断・表現	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	35/100
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	35/100